

# 関西大学幼稚園

## 2019 年度学校評価報告書



2020 年 3 月

# 目 次

## 2019 年度 関西大学幼稚園 学校評価（自己点検・評価）分析

1	本園の概要	1
2	今年度の教育活動状況	1
3	評価の実施にあたって	2
4	評価の分析	4
5	学校関係者評価委員会からの評価結果	26
6	「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書	29
7	アンケート結果	30

## 1 本園の概要

関西大学幼稚園は、教育基本法を十分に尊重し、すべての園児が各自の人間性や能力を全面的に開花させていくことを目的として1951年に開設され、創立68年目を迎えている。

本園は、「自主性の陶冶」「協同性の涵養」「生きる力の育成」の3本の柱を教育の基本方針とし、様々な環境や境遇に育った子どもたちが、幼稚園の新しい環境と集団生活に適応できるように教育活動を実践している。「いきいきと自己表現ができ、積極的にいろいろなことに取り組むことのできる子どもにすること」、「みんなで協同して仕事をしたり、遊んだりすることのできる子どもにすること」、「困難に出会った時、前向きに解決していける豊かな感性と生活の知恵をもつ子どもにすること」を子どもの育ちのなかで見逃すことなく働きかけながら、子どもが子どもらしい感性を発揮し、心豊かに人間らしく育つことを、時代を越えて守っていかなければならないと考えている。

また、本園は自然環境に恵まれ、園舎前面に運動場があり、園庭には楠、桜、いちよう、せんだん、くぬぎ、かえで、つつじ、つばき、きんもくせいのほか、裏山には松、かし等の樹木に囲まれている。また、ざくろ、みかん、柿、ジューンベリー、ブルーベリー等の実のなる木や草花の存在は、子どもたちに四季折々の自然を身近に感じさせる楽しみとなっており、情操教育の一助となっている。

このような環境の中で、教育学や心理学及びその他の諸科学の進歩に即しながら、子どもたちの感覚を豊かにすることに重点を置きつつ、認識、情操、能力、健全な心と体の発達をはかるための保育を開設以来積み重ねている。

一方、本園を運営する学校法人関西大学は、「Kandai Vision 150」に基づき、その実現のために、中期行動計画を策定し実施している。本園においても、この枠組みの中で基本方針と中期行動計画の連関を意識しながら教育活動を実践している。

## 2 今年度の教育活動状況

併設校の利点を生かした大学との連携に関しては、関西大学大学院心理学研究科の「児童臨床心理学実習」の一環として本園で短期実習を実施することが定着している。また、関西大学国際部と連携し、普段の保育時間中に外国人留学生を招き園児との交流を深める取組も定着しており、今年度は5月から1月の間に計22回の機会を持ち、延べ52名の外国人留学生が参加している。加えて、2017年度から英語を母国語とした留学生との交流を13回設定し、交流内容は充実したものとなった。また、関西大学第一中学校との「総合学習」における、生徒と園児の交流を実施することができ、双方にとって有意義な交流となった。

「子育て支援施策の拡充」においては、2歳未満児親子対象の「おいでおいで」を3回開催した。うち2回はホールにおいて遊具を利用した内容を計画し、好評で計24名の参加者があった。

### 3 評価の実施にあたって

本園の自己点検・評価（学校評価）は、関西大学幼稚園教育課程におけるすべての内容を複数の項目に分類し、3年かけて一巡する取組を2009年度より行い、本園のすべての教育を3度にわたり点検・評価を行った。

幼児教育は、何より保護者（家庭）との連携が重要であることから、昨年度、保護者と直接関わる「クラス懇談会」に焦点をあて、本園の教育内容やその意図が保護者に十分伝わり、子育てに役立つものになっているかを2年かけて点検・評価する取組にした。また、クラス懇談会においては、その時期に含まれている教育内容を教員で点検・確認した上で、保護者にも体験してもらうことにした。今年度はその2年目である。

本園では下表のように評価活動の年次計画をまとめた。

2019年度 クラス懇談会の内容

	年少組	年中組	年長組
4月	連絡事項	連絡事項	連絡事項
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手遊びについて</li> <li>● 朝・帰りの集まり</li> </ul>	個人懇談の為なし	個人懇談の為なし
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お弁当・給食</li> <li>● 制作活動（みつろう粘土）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リズム運動について</li> <li>● 健康診断</li> <li>★ 絵本・絵本の貸し出しについて</li> <li>★ 園外保育について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5月の節句について</li> <li>● 制作活動（絞り染め）</li> <li>★ 誕生日のお祝い</li> </ul>
7月	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 制作活動（七夕飾り）</li> <li>● 七夕について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 野菜の栽培・季節の実り</li> <li>★ プール遊びについて</li> <li>● 夏の夜の集いに向けて</li> <li>● 夏休みの過ごし方</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お月見について</li> <li>★ 通園について</li> <li>★ 親子遠足について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● わらべうた遊び</li> <li>● お月見について</li> <li>★ 安全教育（防災・防犯・訓練）</li> <li>★ 集団遊びについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お月見について</li> <li>● おやつ作りについて</li> <li>★ 戸外での自由遊びについて</li> <li>★ 体育的な遊びについて</li> </ul>

10月	● 運動月間・運動会参観 ● ペンダント制作 (3クラス合同)	● 運動月間・運動会参観 ● ペンダント制作 (2クラス合同)	● 運動月間・運動会参観 ● ペンダント制作 (2クラス合同)
11月	● 制作活動(ぬらし絵) ★ 散策について ★ 冬のつどい	● 自由遊びについて ● 芋ほり・焼き芋について ★ チューリップの球根 植えについて	● 休日参観・お店やさん ごっこ ● 小学校に向けて ★ お餅つきについて
12月	個人懇談の為なし	個人懇談の為なし	個人懇談の為なし
1月	個人懇談の為なし	個人懇談の為なし	個人懇談の為なし
2月	● 人形劇について ● 絵本について ★ ひなまつり	● 手伝いについて ● 豆まきについて ● 年長児との混合保育 について	● 制作活動 (マフラー作り) ● 3年間の成長の姿
3月	● 年中に向けて	★ 小鳥かもうさぎ当番 (年長に向けて)	なし

\*クラス懇談会終了後に、アンケートをとるようにし、悩みや質問については次回のクラス懇談会での話題にする。

\*★印は、今年度の学校評価項目である。

\*年中組3月のクラス懇談会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

また、2019年度の本園における主な自己点検・評価活動は以下の通りである。

日付	議題	内容
4月23日(月)	今年度の学校評価について	
5月11日(金)	今年度の保護者アンケートについて	アンケート項目の作成
6月3日(月) 6月4日(火)	年中組クラス懇談会にてアンケート 実施	今年度の学校評価アンケート 集計
6月12日(水)	年長組クラス懇談会にてアンケート 実施	今年度の学校評価アンケート 集計
7月9日(火) 7月11日(木)	年長組クラス懇談会にてアンケート 実施	今年度の学校評価アンケート 集計
7月23日(火)	2・3学期に実施するアンケートに ついて	アンケートの作成
9月9日(月) 9月10日(火) 9月11日(水)	年少組クラス懇談会にてアンケート 実施	今年度の学校評価アンケート 集計
9月12日(木)	年中組クラス懇談会にてアンケート	今年度の学校評価アンケート

9月13日(金)	実施	集計
9月18日(水)	年長組クラス懇談会にてアンケート	今年度の学校評価アンケート
9月20日(金)	実施	集計
11月12日(火)	年中組クラス懇談会にてアンケート	今年度の学校評価アンケート
11月15日(金)	実施	集計
11月14日(木)	年少組クラス懇談会にてアンケート	今年度の学校評価アンケート
	実施	集計
11月27日(水)	年長組クラス懇談会にてアンケート	今年度の学校評価アンケート
	実施	集計
2月4日(火)	年少組クラス懇談会にてアンケート	今年度の学校評価アンケート
2月6日(木)		
2月7日(金)		
2月26日(水)	教員用アンケート実施・集計	今年度の学校評価アンケート
3月9日(月)	年中組クラス懇談会にてアンケート	今年度の学校評価アンケート
3月10日(火)	実施	
3月	学校関係者評価委員会開催	

本園の学校評価活動の特徴として、2010年度から保護者にも協力を仰ぎ、保護者と教員との間で本園の教育についての意識が共有できているかを検証している。今年度もクラス懇談会終了後に毎回保護者アンケートを実施した。回収率は99.6%であった。

#### 4 評価の分析

##### (1) 年中組6月クラス懇談会

##### ア 絵本・絵本の貸し出しについて

##### 【現状の説明】

子どもたちが物語の世界を想像して楽しむことを大切に考え、降園前に教員による読み聞かせの時間を設けている。絵本は昔話や季節に合ったもの、子どもの成長段階に見合ったものを選んでいる。教員は読み聞かせる上で、子どもたちが絵を見てお話に耳を傾け、想像力を膨らませることができるように抑揚をつけすぎることなく、静かにゆっくりと語るようにしている。また、次々と新しい絵本を読むのではなく、同じ絵本を何度も読んで楽しめるようにしている。同じ絵本を繰り返し読むことで、子どもたちは新たな発見をし、物語をより深く楽しむことが出来ると考えている。

現在、「絵本のへや」には5,000冊近い絵本があり、園児や保護者に貸し出しを行っている。年中・年長児は、週1回貸し出し日を決めて、自分で選んだ絵本を家に持ち帰り、借りた絵本は置く場所を決めて、家でも大切に扱えるように働きかけている。年少児には、保護者や教員が選んだ絵本を読み聞かせることを重視しているため、自

分で絵本を選ばせる貸し出しは行わず保護者に貸し出しをしている。貸し出した絵本は、家で保護者に読み聞かせてもらい、親子で一緒に物語の世界を楽しむ時間を大切にしたいと考えている。また、子どもが文字に興味を持ち始めても、文字を追うことに一生懸命になってしまうと物語を楽しむことが出来るように、保護者の方が読む時間を大切にしてほしいということをクラス懇談会や機関誌「はぐくみ」を通して保護者に働きかけている。

今回のクラス懇談会では、絵本の読み聞かせについての考えや子どもたちの様子を伝え、保護者に向けて絵本の読み聞かせを行った。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『絵本・絵本の貸し出し』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」という設問に対し、「理解できた」との回答が96.2%だった。

また、「『絵本・絵本の貸し出し』の話や絵本の読み聞かせを聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「家でも寝る前に本の読み聞かせをしています。だいたいいつも同じ本を読みたがるのですが、嫌がらずに読んであげようと思いました。」「絵本の世界に入り込むための繰り返しや読み聞かせがとても参考になりました。」「同じ絵本の繰り返しも大切なんだと教えていただきました。」「息子が繰り返しの言葉や同じ本を何度も読むことが大好きです。それでいいんだと思えて嬉しかったです。」との記述があり、クラス懇談会での話と家での子どもの姿が繋がり、絵本を繰り返し読む大切さを感じていただけたことがわかった。また、「最近は自分で字が読めるようになったことが嬉しいのか、自分自身で読み上げることも多くなっていましたが、もう少し読んであげる時間も増やしたいと思います。」との記述もあり、親子での読み聞かせの時間の大切さが伝わっていることがわかった。「先生の読み聞かせは子どもにも色々想像させる“間”があり、家でもそうしようと思いました。」「先生の優しい声で読み聞かせをされている姿を見て、こういう風に読んであげようと思いました。」という記述からは、話だけでなく保護者の前で読み聞かせを行ったことで、静かに語る口調や次のページをめくる間、本園が読み聞かせで大切にしていることを実際に感じていただき、より理解が深まったと考える。

今後も、子どもの姿を通して絵本や絵本の貸し出しで大切にしていることを伝えていくと共に、クラス懇談会では保護者向けに絵本の読み聞かせを行うこととする。

## イ 園外保育について

### 【現状の説明】

本園の園外保育は、春、秋と同じ場所に出かけている。目新しい場所や施設を利用するのではなく、季節の変化を感じることを大切にしている。春の新緑の美しさや秋



の紅葉の美しさ、咲く花の違い、太陽の温かさや木陰のひんやりとした空気等を感じながら、子どもたちがその場所で安心して楽しむことができるように働きかけている。身近な自然物から目に留まったものを何かに見立てたり工夫して遊ぶことで、子どもたちの想像力や創造力が引き出されると考えている。また、広場で走ったり、集団遊びなど身体を動かして遊ぶ心地よさを味わうことも大事にしている。

毎年同じ場所に出かけるが、自然や安全面の状態を把握するため必ず教員は下見に行き、その年の園児に合わせた活動内容や時間配分を考えた計画を立てている。

年中児は千里南公園に出かける。春は新しいクラスになったばかりで慣れていないため、散策をし、おやつを食べて午前中で園に戻るようになっている。秋は、クラスに慣れ子ども同士の関わりも深まってくるので、たっぷり遊べるようにお弁当を持って出かける。年長児は万博記念公園に出かける。体力がつきしかりとした足取りで歩けるので、春も秋もお弁当を持って自然の中でたっぷり過ごすようにしている。

今回のクラス懇談会では、子どもの発達に合わせて場所や内容を考えていること、遊具のない場所で子どもたちが主体的に遊ぶことを大事にしていることを保護者に伝えるように話をした。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると『園外保育』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」という設問に対し、「理解できた」との回答が 96.2%であった。また、『園外保育』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「何もないところで主体性を持って遊ぶことの大切さを学びました。」や「遊具や与えられた物がなくても楽しめることはすばらしいと思った。」「週末子どもと過ごす時、同じような心持ちでいたいと感じました。」等の記述が多数あり、遊具に頼らず、自然の中で楽しく過ごす大切さに保護者が共感していることがわかった。一方で、「変質者等が心配なのでもう少し大人の人数を増やして欲しい。」という記述があった。引率は保護者にも協力していただいている現状ではあるが、付き添いマニュアルの見直しと教員数の検討を行う。

## (2) 年長組 6月クラス懇談会

### ア 誕生日のお祝いについて

#### 【現状の説明】

本園では一人ひとりの生まれた日を大切に考え、誕生日の当日か或いはできるだけ近い日にお祝いをしている。どの子どもひとつ大きくなる誕生日を心待ちにしている。お祝いの日には保護者に来て頂き、クラスの子どもたちと一緒にお祝いのひと時を持っている。学年によってお祝いの持ち方は異なるが、子どもが生まれた時の様子や家族の気持ちをお聞きしたり、教員が子どもたちに伝えることで、その子が家族に祝福されて生まれてきたことや、愛され大切に育てられていることを感じられる時間にし



たいと考えている。保護者が我が子の成長を振り返り、元気に大きく成長したことを喜んでいる姿は子どもにとっても嬉しいことであり、愛されていると感じるひと時になっている。クラスでお祝いすることを通して祝ってもらうことだけではなく、友だちにも誕生日があることを知り、友だちの誕生日を祝う気持ちも育てていきたいと考えている。誕生日プレゼントについては、年少児の場合は拍手を贈り、年中児は季節感を題材にしたものを担任の指導のもと制作している。年長児は年中時での経験を活かし、各自が誕生日の友だちに贈りたいものを作れるように指導している。また担任は、誕生日の子どものことを思いながらお祝いのテーブルに花壇の花や木の実を飾り、ろうそくを用意し、年齢と同じ数の星の冠を贈っている。園長からは花壇の花を押し花にした手作りのカードを贈っている。

今回のクラス懇談会では、保護者に一人ひとりのお祝いを大切に考え積み重ねていることや子どもたちの様子を伝えることによって理解を深めてもらえるように話した。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『誕生日のお祝い』を通して、関大幼稚園が大切にしていることが理解できましたか」という設問に対し、「理解できた」との回答が100%であった。また、「『誕生日のお祝い』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですでお書きください。」との設問に対し、「友だちの誕生日も自分のことのように喜ぶことができる子どもたちがすごいと思う。優しい心が育っているなど嬉しく思う。」「生まれてくることがとても大切で素敵なことだと改めて感じる。自分だけでなく友だちをお祝いする心を育てていきたい。」「誕生日の意味を家ではなかなか伝えられない(1つ大きくなってプレゼントをもらうことだけになっている)ので、友だちを祝う中でたくさん話を聞いて、自分の命について大切に思ってもらえたら嬉しい。」「5月にお祝いをしてもらい、この子が生まれてきてくれてよかった、出会えてよかったと思えた時間でした。」「子どもたち一人ひとりの誕生日をとっても大切にしてくれていることが伝わってきます。」という記述があった。これらのアンケートから、本園が大切にしていることを理解していただけたことがわかると共に、保護者の子育て感(観)にも影響を与えていることがわかった。今後も一人ひとりの誕生日のお祝いを大切に積み重ねていけるよう努める。

### (3) 年長組7月クラス懇談会

#### ア プール遊びについて

##### 【現状の説明】

本園には屋外に5m×10mのプール施設がある。プールの水は毎日入れ替えきれいな水の状態を利用して利用している。学年により水深を変えるため、年少組・年中組・年長組の順番でプール遊びをしている。

プール遊びは泳げるようになることが目的でなく、水に慣れ親しみながら水の心地

良さを感じることを大切にしている。プール内では玩具を使わず体を動かしたり、水をかけあったりして遊ぶ楽しさを感じられるように指導している。子どもたちには、プール遊びを楽しめるように夜は早く寝る、朝食をしっかり食べて登園する等の生活面の話をし、同時にプールで必要なものを伝え、楽しみにしている気持ちから自ら準備をする意欲を引き出すように話をしている。着替えでは、脱いだ順に畳むと着る時に着やすいことを知る、濡れた物をすぐに袋に入れる、自分で体を拭く等、積み重ねにより身の自立を助け、自分の持ち物の管理を意識できるように働きかける。教員はプールサイドとプール内での安全に十分注意を払い、子どもたちにはプールでは約束を守って遊ぶこと（友だちに乘らない・手足をつかまない・飛び込まない・走らない等）を伝え、自分の行動を律することが出来るように指導している。また日射しが水や身体を温めていることを感じ、空を見上げることで天気の様子を知ることも大切にしている。

今回の懇談会では、子どもが自分でプールの用意が出来るよう見守ってほしいことを伝えた。また苦手な事でも友だちと一緒にすることでやってみようと思える姿になる子どもの様子等を具体的に伝えることで、保護者にプール遊びの様子がイメージ出来るように工夫し話を進めた。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『プール遊び』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解出来ましたか。」という設問に対し、「理解できた」との回答が100%であった。また、「『プール遊び』の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「身支度など生活と結び付けて取り組んでくださっている事を知り日常でもそのような視点を持ちたいと思いました。」「子どもが楽しみながら学んでいるのがよかった。幼稚園の用意も私がしてしまうのを出来るだけ一緒に子どもにやらせてみようと思う。」「プールでも子どもの身体や気持ちの成長があるのがわかり嬉しかった。」「子どもたちが水の心地よさを感じながら楽しいと思えるようにして下さって感謝しています。」等の記述があった。クラス懇談会で子どもたちの姿を伝えることにより、家庭生活の中でも積み重ねることで子どもの身の自立の機会を考えるきっかけになったようである。今後も子どもたちの姿から保護者と一緒に子どもの育ちを考えていけるよう努めていく。

### （４）年少組 9月クラス懇談会

#### ア 通園について

##### 【現状の説明】

通園時及び園生活全般において、自ら危険を予測し、回避できる力が育つことを目的にした指導を行っている。

本園は駅に近いという立地条件から、阪急電車を利用した電車地区と徒歩地区に分

けて集団で通園を行っている。2007 年度より通園補助員を導入し、保護者の負担の軽減に努めている。また、2012 年度には不審者・地震・火災の3つに分類した通園時における緊急マニュアルを作成し、教員に配布し安全管理に努めている。

1 学期、年少児は保護者による各自降園で安心感を得ながら、水曜日と土曜日に集団降園の経験を積み重ね、2 学期より年中児・年長児と一緒に集団降園となる。通園時の子どもの状態については全教職員間で共有し、子どもが安全に通園できるようにしている。また、交通ルールや公共のマナーの指導については習慣として身に付けることが大切であると考え、その都度の指導と共に、各学期初めに地区ごとで通園時の注意点を確認し、子ども自身が意識を持って安全に通園できるよう働きかけている。

また、交通ルール・公共のマナーの指導については、園と家庭で一貫性を持って指導できるよう、集合時間の厳守や集合・解散を速やかにする等の指導で注意すべき点について、保護者にも集合場所などの公共の場でのマナーに関する意識を高く持ってもらえるよう働きかけている。

通園だよりを年4回発行し、通園における子どもの様子や変化、園と家庭が協力し指導することの必要性を具体的に知らせ、保護者の理解を得られるよう努めている。

#### **【点検・評価と今後の取組】**

各通園地区の状況が異なるため、担当の教員が注意すべき事項が若干異なる。今年度は、電車の遅延時について地区の状況を職員会議で取り上げ、全教員が共通理解できるようにした。その結果、阪急電車の遅延が登園時間と重なることが多かったが、マニュアルに沿うだけでなくこれまでの話し合いを踏まえ各地区の状況に見合った判断をし、通園補助員や保護者の協力を得て子どもの安全を確保し落ち着いて行動することができた。その後、再度全教員で各地区の対応について報告し合い、緊急時の対応について理解を深めることができた。

保護者アンケート調査において、「年長児が自然と年中児・年少児と歩道の内側に入れ替わること」「実際に通園している姿を見て集団通園をすることで交通ルールや公共のマナーを在園児からも学んでいると感じた」「家庭でも意識して伝えていくことや毎日の積み重ねの大切さを改めて感じた」との記述が見られた。これにより、子どもに身に付くように毎日積み重ね指導していることが保護者に伝わっていることがわかり、保護者が再認識されたこともわかる。今後も、保護者への働きかけを継続し、園と家庭が一緒になって安全な通園ができるよう考えていく。

### **イ 親子遠足について**

#### **【現状の説明】**

年少児は、園生活に慣れ安心して過ごせるようになった秋に親子で千里南公園へ出かけている。遊び慣れた幼稚園ではなく園外に出かけるので、子どもたちが安全に安心して過ごせるように親子での遠足にしている。親子で季節の変化に目を向け、身近

な自然への興味や関心が広がるように働きかけている。広場では親子で身体を動かす触れ合い遊びやかけっこを楽しみ、散策では親子で季節を感じながら、色づいた葉やどんぐり、まつぼっくり等を見つけて楽しむ。身近な自然が子どもたちの想像力や創造力を引き出してくれると考え、道具を使ったり遊具で遊ぶのではなく自分の身体を動かし、自然の中を散策して目や耳、肌等全身で感じる経験を大切にしている。

今回のクラス懇談会では、11月の親子遠足に向けて季節を感じることに、道具がない所で過ごすねらいや親子での会話を楽しんで欲しいことを伝えた。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、『親子遠足』を通して、本園が大事にしていることが理解できましたか。」という設問に対して「理解できた」との記述回答が98.4%であった。また、『親子遠足』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「一緒に散策をして楽しむことで親子の絆が深められると思った。」「何もない場所でも子どもたちが、どんな遊びをするのかを楽しみにしたいです。」「自然に触れることのできる遠足を楽しみにしています。」「子どもと、ゆったりとした気持ちで季節感を味わうことができたと思う。」という記述があった。これらのアンケートから、親子遠足のねらいを保護者に理解いただけ、楽しみに思ってもらえたことがわかった。そして実際に体験してもらった後の連絡帳では「子どもとゆっくり散策をして、お花を見たり、鳥を見たり、どんぐりを拾ったりと普段なかなかもない時間を過ごすことができ、とても温かい気持ちになりました。」と親子遠足の感想をいただいた。

今後も、親子で身近な自然に触れ合い季節を感じる機会を持つことを意識し、家庭でも自然や季節の変化に興味や関心を持ってもらえるように取り組んでいきたい。また、子どもたちには、普段から園内の散歩を通して、季節の移り変わりを感じられるように働きかけることに努めていく。

### (5) 年中組9月クラス懇談会

#### ア 安全教育（防災・防犯訓練）について

##### 【現状の説明】

本園では、安全教育として地震・火災・不審者侵入時を想定した避難訓練を1年間を通して6回行っている。地震の避難訓練では、身を守る方法や防災頭巾の被り方、保育室内の安全な場所の確認、戸外や園外への避難の仕方を指導している。火災の避難訓練では、煙を吸い込まないように手で鼻と口を抑えることを指導している。不審者侵入時の避難訓練では、警戒音が鳴った時に担任の顔を見るようにし、その後は担任の指示通りに動けるように指導している。また、これらが園内のどこで起きても対応できるように、プールや裏山等、様々な状況を想定し行うようにしている。教員は避難訓練時に子ども一人ひとりがどのような行動を取るかを把握し、実際に避難する

時に対応できるように考えている。避難訓練においては、過剰に子どもを不安にさせたり怖がらせることがないように災害の話をし、大人の側にいれば安全であることを伝えている。

避難訓練だけではなく、日頃の園生活の中でも歯ブラシをくわえたまま歩かないことや、はさみやお箸の扱い方、保育室は走らないこと等を伝え、自分自身で危険を予測し回避できる力を育てたいと考えている。

今回のクラス懇談会では、様々な場面を想定して避難訓練に取り組んでいること、一人ひとりの様子を把握し緊急時に備えていることを、保護者がイメージできるように子どもの様子を交え具体的に伝えた。

#### **【点検・評価と今後の取組】**

保護者アンケート調査によると『安全教育（防災・避難訓練）』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」という設問に対し、「理解できた」との回答が98.0%であった。また、『安全教育（防災・避難訓練）』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「不審者、地震など細かく分けて訓練をしていて安心しました。」「家庭でも怖がらない程度に身を守ることの大切さ、方法を伝えていこうと改めて感じました。」「昨年家で地震があった時も年長だった娘は幼稚園での訓練と同じように行動していました。」「家でもよく、今日は訓練をしたよと教えてくれます。園庭や部屋だけでなくプールでも安全教育をしてくださっているので安心します。」などの記述回答があり、様々な場面を想定しての避難訓練をしていることが保護者の安心に繋がっていることがわかる。また、保護者が家庭での安全教育を見直す機会となったことがわかった。今後も、これまでの経験や情報を元に子どもの現状にも合わせて内容を改善しながら安全教育を積み重ねていきたい。

### **イ 集団遊びについて**

#### **【現状の説明】**

集団遊びは、クラス全員で楽しむ遊びの経験として、学年ごとに子どもの発達に合わせたものを選んでいく。年少児は、初めての集団で子ども同士の関わりが少ないので「むっくりくまさん」や「あぶくたつた」等、教員を中心に簡単なルールを守り、みんなで遊ぶ楽しさを味わえるものに取り組んでいる。

年中児は子ども同士の関わりができ、子ども同士で楽しめるようになり、じゃんけんの要素が入った「へびじゃんけん」や「氷鬼」に取り組んでいる。

年長児は複雑なルールが理解できるようになり、自分で身体をコントロールできるようになってくるので、「はじめの第一歩」や「ドッジボール」を取り入れ、繰り返し遊ぶことで子ども同士で長い時間楽しめるようになっていく。

クラス全員で楽しむ遊びを経験し、遊びの楽しさを共有することでクラスの一体感



を生むと考えている。集団で遊んでいると自分の思い通りにならないこともあるが、その時に友だちの意見を聞いて自分の気持ちに折り合いをつけられるよう、個々の子どもに合わせて関わりながら積み重ねていく。

今回のクラス懇談会では、へびじゃんけんを体験してもらい、皆で遊ぶ楽しさや一体感を感じられるようにした。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると『集団遊び』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」という設問に対し、「理解できた」との回答が 96.0%であった。また、『集団遊び』の話を聞いたり、一緒に行ったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「普段あまり話したことの無い人とでも一緒にすると一体感が生まれてとても楽しかった。」「大人でも楽しめました。子どもたちが楽しみながらルールを守り、集団生活を過ごしていく中で大切なことを感じてほしいです。」「子どもの気持ちに近寄れたような感じがしました。」「やはりお友達と一緒に遊ぶと楽しい。みんなで遊ぶことの楽しさを知って欲しいと思った。」等の記述が多々あり、実際に集団遊びを体験したことで、集団で遊ぶ楽しさや一体感を感じてもらえたことがわかる。また、「家ではできないので、いい経験だし、楽しんでルールや社会性を学べるのでありがたいです。」「発達段階に応じた遊びを教わっていて感心しました。」等の記述があり、集団遊びの意図が伝わったことが伺える。今後も、子どもたちの発達に合わせた遊びを検討しながら、クラスのみんなでルールを守って楽しく遊べる経験を積み重ねていけるようにする。

### (6) 年長組 9月クラス懇談会

#### ア 戸外での自由遊びについて

##### 【現状の説明】

本園では戸外での自由遊びを通して、水や土に触れ、水や土の性質に遊びの中から気付いたり、水をバケツに入れて運ぶ、土を掘る等、全身を使い平衡感覚・視覚・触覚・空間認知能力等を育むことを大切にしている。また、友だちとの共同遊びにより心が繋がる経験や、虫や小さな生き物の命を感じたり、空を見上げ、風や陽の温かさを感じることを育むことは子どもの健やかな育ちにつながると考える。また、場所や遊具を譲り合い、みんなが使うものを大切に出来るように働きかけている。季節により植物の変化（芽吹き・開花・紅葉・落葉等）があることに気が付く経験は、学童期での学びがより豊かなものになると考察する。

クラス懇談会ではこれらのことについて、子どもが遊ぶ姿を通して保護者に伝えた。また、幼児期の戸外遊びから身体が作られることで、様々な発達と結びついていること（集中力・協力する力・理科に繋がる萌芽・中心から末端への発達により鉛筆を持つなどへの繋がり・遊びから体幹が生まれ姿勢や身体を思うように動かせる力になる



こと等) を伝えた。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると『戸外での自由遊び』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」という設問に対して「理解できた」との回答が100%であった。また、『戸外での自由遊び』の話聞き、思ったことや感じたことがあればどんなことでも結構ですのでお書きください。」という設問に対し、「園庭で自由に遊ぶことによって子どもが自ら何かを発見したり、不思議だなと思う気持ちを大事に出来ればいいなと思いました。」「遊びは社会性や協調性を学べる重要な事なんだと思いました。」「遊びを通して色々な事を感じ取り吸収して学びに繋がっていることを知り驚きました。深く理解出来ました。」等の記述があった。これらから、戸外の自由遊びが子どもの発達にどのように働きかけ、育まれているかが伝わったと思われる。子どもの姿と発達の見通しを伝えたことで、保護者が捉えていた遊びの理解がより深まり、幼児期の子どもの遊びから生まれる発達の理解に繋がったことは、子どもの健やかな育ちに大きく影響するものと思われる。今後も、戸外での自由遊びについて伝えていくことで、保護者が安心して子どもの育ちを見守る子育てが出来るように努めたい。

#### イ 体育的な遊びについて

##### 【現状の説明】

本園では、体育的な遊びを通して体を動かす楽しさや心地よさを感じさせたいと考えている。教員が一方的に課題を与えて取りませせるのではなく、普段の遊びの中で子どもが自分からやってみたいと思えるタイミングを大切にしている。園庭での縄跳び、まりつき、竹ぼっくり、一本下駄、竹馬、丸太橋、鉄棒、山登り、タイヤ跳び、ジャングルジム、うんてい、滑り台等で遊んでいる。年中児が年長児の刺激を受けて取り組む姿も見られ、子どもから子どもへと遊びのルールやコツが伝わっている姿が見受けられる。集団遊びでは、子どもの身体の発達を踏まえ、年少組ではむっくりくまさんやあぶくたつた、年中組ではへびじゃんけんや氷鬼、年長組では渦巻きじゃんけんやはじめの第一歩、ドッジボール等、クラスで取り組んでいる。また、戸外遊びに適している10月は、運動月間として毎日「運動会ごっこ」を行い体育的な遊びに取り組んでいる。かけっこ、リレー、玉入れ、二人三脚、綱ひき等、学年別に子どもの発達に見合った種目に取り組み、運動面の発達だけでなく、最後まであきらめずに取り組む姿勢や、ルールを理解し守って取り組むこと、友だちと一緒に力を合わせて取り組む楽しさや喜びを感じられるよう、精神面の成長発達も大切に考えている。

体育的な遊びを積み重ねることで、全身のバランス感覚が育ち自分で自分の体をコントロールできるようになっていく。竹ぼっくりや縄跳び等はできなくても毎日のように取り組む姿があり、繰り返し挑戦することでコツをつかみできるようになってい

く。できるようになった喜びが、自信や次の活動への意欲につながっていくため、教員はあきらめずに取り組む姿勢が育つよう働きかけ、できなかったことができるようになる喜びや嬉しさ、達成感を感じさせたいと考えている。また、ルールや順番を守って遊ぶこと、安全に気をつけて遊ぶことを意識させ、子どもの身につくよう指導している。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『体育的な遊び』を通して、関大幼稚園が大切にしていることが理解できましたか」という設問に対し、「理解できた」との回答が98.1%であった。また、「『体育的な遊び』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「年少、年中、年長とできることが増え、身体作りだけでなく精神面も育っていくことを感じた。」「遊びの中で手足の動きや瞬発力、集中力等が育っていくのだと感じた。」「できなくても頑張る力、お友だちを見てやってみようと思う力等、これからの人生にとっても大切なことを学んでいると思った。」「周りの子の姿を見て自分もやりたい、できるようになりたいと取り組むようになっている。」「負けず嫌いなので相手を認める気持ちや負けた時の気持ちの折り合いのつけ方を学んでほしいと思った。」という記述があった。これらのアンケートから、保護者に体育的な遊びを通して本園が大切にしていることが理解していただけたことがわかる。今後も体育的な遊びの内容については、子どもの発達に即したものになっているか教員間で常に検討し、精神面の成長発達につなげながら取り組む。

### (7) 年中組 11 月クラス懇談会

#### ア チューリップの球根植えについて

##### 【現状の説明】

毎年11月に子どもが一球ずつ自分で植えている。子どもは保育室から畑まで自分の手で大切に球根を運び、土の中に入れ、優しく土をかけ植えている。教員は、球根はどちらから伸びるのか、芽を出すのかを話し、植える向きを伝えている。植えてからは、芽を出し葉が育つ様子、つぼみがついて花が咲く様子を、間近で見ることで興味を持ちながら春に花が咲くのを楽しみにできるようにしている。花が咲き終わると年長児が、球根の掘り出しと花壇の雑草抜きをし、さつま芋を植える準備を手伝う。この経験を通して、球根は再度花を咲かせることを知り、植えた時との球根の変化に子どもが気づけるように働きかけている。保育室では同じ球根であるヒヤシンスの水栽培をし、チューリップの球根も土の中では根が伸びてから芽が出ることを知れるように話し、植物の生育過程に興味や関心を持たせるようにしている。

### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『チューリップの球根植え』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」という設問で「理解できた」の回答が100%であった。また、「『チューリップの球根植え』の話を読み、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「土の中に植えてしまうと、なかなか成長する過程は見えないので、ヒヤシンスで見て知れることは良いなと思いました。一つの球根を大切に植えてもらえたら嬉しいです。」「自分の手で球根を持ち、土に植えることで、その花への想い、優しい気持ちが育ち、それが人への気持ちへと繋がっていくのだなぁと嬉しく感じます。」「子どもたちの目線で植物の成長と子どもたちの成長を関連づけてよく考えてくださっているのが伝わりました。家でも水栽培などできることを考えてみようと思います。」「一人ずつ両手でそっと球根を持って、フワッと優しく土をかぶせる姿が想像できて、私も子どもからの話が楽しみです。」「球根を植える時、力任せにするのではなく、子どもは力一杯しがちなので優しく土をかぶせたり、普段植えたりすることがないので、そういうことを教わりながらできるので良いなと思いました。」「子どもが球根からお花を育つのを観察して、球根を抜くことまでできるのがとても良いと思いました。」との記述があり、保護者にチューリップの球根植えの様子や意図が伝わっていることがわかった。今後も植物に触れる体験を通して、四季を感じる取組を積み重ねていく。

## (8) 年少組 11月クラス懇談会

### ア 散策について

#### 【現状の説明】

本園では散策を大切な保育の一環として考え、日々の散策を通して、子どもたちが身近な動植物や季節の移り変わりを、目や耳、肌等身体で感じ興味や関心を持てるようにしている。

入園当初は幼稚園のことを知るために、子どもたちが部屋遊びに少し慣れた頃に散策に行く。ウサギ小屋やカモ小屋、園庭のチューリップやタンポポ等の春の花を見つけ春風を感じる。梅雨の季節には、梅の実やアジサイのつぼみを見たり、葉っぱの影にカタツムリを見つけ部屋で飼うこともある。夏は緑色だったブルーベリーが濃い紫色に変化する様子や、年長児が育てているトマトの花が咲き、その後に緑の実ができて大きくふくらみ赤くなっていく様子を見て知る。また、蝉の声に耳を傾け、蝉の抜け殻や幼虫が出て来た穴を園内の散歩で見つけ、夏の虫に興味や関心を持てるようにしている。夏から秋にかけては、ざくろやみかん、柿等の実のなる木の果実が大きくなったり色づく様子を見て、年長児の収穫を楽しみにする。また、とんぼやバッタ、秋の虫を見つけ散歩を楽しむ。秋から冬にかけては、園庭の木々の葉っぱの色が緑色から黄色、赤色と変わり落ちていく様子を見ている。冬は、口から出る白い息に気が

付き、カモ小屋にいる亀の冬ごもりや氷、霜柱等、冬ならではの発見ができるようにしている。また、木の芽、園庭の沈丁花の花と香りに気づき春が来るのを楽しみにする。

今回のクラス懇談会では、散策は子どもたちの感性を豊かにし、季節を感じ取る力に大きく繋がり関わっていることを伝え、具体的な子どもの姿を話すことでイメージしてもらえるようにした。

### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、『『散策』を通して関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。』という設問に対して「理解できた」との記述回答が100%であった。また、『『散策』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』との設問に対し、「子どもの心の動きまで考え季節を楽しむことを大切にしてくださっていることを知り嬉しく思った。」「友だちとゆっくり散策できる時間がありとても良い。」「毎日発見したことを先生から聞き自宅に帰って話してくれる。貴重な体験を日々していることを有難く思う。」「子どもたちが季節の移ろいを感じ、四季を楽しんでいる様子が目に浮かぶ。」「今までは季節の移り変わりを一緒に感じる事がなかったが、子どもが幼稚園で色々学んできて教えてくれるので自分も自然や四季に興味湧いてきた。」「季節の移り変わりを自然と教えて貰っていると感じた。」という記述があった。これらのアンケートから、保護者も子どもを通して、自然や四季の移り変わりに目を向けていることを知ることができた。この結果に甘んじることなく、これからは教員自身が自然の様子に敏感になり、子どもの感性に働きかけることができるように努める。

## イ 冬のつどいについて

### 【現状の説明】

本園では12月に入ると冬至に向けて様々な取組を行っている。

園で収穫したぎんなんやホットプレートで焼いたなんきん、ゆず茶を飲食し、寒い季節に身体を温める作用がある食べ物があることを知らせ、興味や関心が持てるようにしている。また園内で収穫したみかんの皮を天日干しにして「みかん湯」を作り、手を温める体験をし、先人の知恵や工夫を伝えている。

冬のつどいでは、冬至を知り太陽への感謝の気持ちやこれから寒さが厳しくなっていく冬を元気に過ごせるようにとの願いをもって行い、太陽の偉大さが語り継がれている「天の岩戸」の影絵を見せている。年少・年中児は集会の後、年長児が作ったなんきん入りクッキーを食べ、その後年少児は裏山や園内、近くの大学構内を散歩し、落葉樹や常緑樹があることを身近な木から知る。年中児は園庭で集団遊びをした後戸外を散歩し、年長児は自分で作ったクッキーと水筒を持ち、大学構内へ散歩に出かけ、クッキーをいただいた後広場で遊んで過ごす。このようにそれぞれの学年に合った形

で、冬の寒さや太陽の暖かさを感じられるようにし、寒い中でも体を動かすことで体が温まることを体感できるようにしている。

今回のクラス懇談会では、冬至に向けての様々な取組や冬のつどいのねらいを保護者に理解していただけるように話をした。

#### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると、『『冬のつどい』を通して関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。』という設問に対して、「理解できた」の回答が100%であった。

また、『『冬のつどい』の話を聞き、思ったことや感じた事があれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。』という設問に対して、「家では伝えられないようなことを伝えて頂けるのでありがたいです。家でも出来る事はしてみたいと思った。」「太陽のありがたさを感じる冬のつどいの考えが素敵だと思いました。今まで冬至を意識した事がなかったので、家でも取り入れたいと思いました。」等の記述があり、本園で冬至に向けての取組を行っている意図が伝わり、家庭においても取り組んでみたいという気持ちに繋がった事がわかった。今後も子どもたちに丁寧に伝えていくと共に、保護者に向けても理解を深めていけるよう働きかけていく。

### (9) 年長組 11 月クラス懇談会

#### ア お餅つきについて

##### 【現状の説明】

近年、地域や家庭で行われることが少なくなっているお餅つきを12月に園庭で行っている。火を炊き、蒸籠で餅米を蒸し、石臼と杵で餅をつく昔ながらの風習を子どもたちに知らせ、日頃味わえない貴重な体験だと考え取り組んでいる。当日、子どもたちは、薪が燃える香りや蒸籠から立ち上る煙の様子や、年長児や保護者が餅をつく様子を見てお餅ができる過程を知る。実際にお餅つきを体験した年長児からは「お餅つきの楽しかった。」「杵が思っていたより重かった。」「杵にお餅がくっついた。」等の声が聞かれ、餅つきを楽しんでいた。教員は年少・年中児は年長児への憧れの気持ちを持てるように働きかけている。できたお餅は温かいうちに園庭のベンチに座って友だちと一緒にいただく。子どもたちにはできたての温かさや柔らかさを自分の手で感じ、友だちと一緒にいただく嬉しさや美味しさを味わう経験をさせたいと考えている。教員は、昔からお米は大切なものであり、お正月を迎えるためにお餅つきをしていたこと、蒸籠や杵、臼といった珍しい道具を伝え、興味や関心が持てるようにしている。また、前日のもち米洗いから当日の準備、つき手、後片付けに到るまで役員（保護者）の協力を得て行っており、お餅つきが多くの人々の協力によってできることを伝え、感謝の気持ちを持てるようにしている。



### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると「『お餅つき』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」の設問に対し、「理解できた」との回答が100%であった。また、「『お餅つき』の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですでお書きください。」の設問に対し、「できたての温かいお餅を食べる機会はなかなかないので貴重な経験をさせていただいていると思います。また、杵の重さ、つくことの大変さを同時に経験できることが親としてもとても嬉しく思います。」「子どもたちが昔ながらの経験ができ、美味しくいただけるということ、ありがたく思っています。」「普段、自分では意識しないこと（たくさんの人の手によってお餅が作られる、昔からお祝い事の席でお餅を食べてきた等）も幼稚園で教えてくださることを大変ありがたいと思っています。」「衛生面の都合でお餅つきの行事が減ってきていますが、関大幼稚園では開催していただけて嬉しいです。」「お餅つきを通して、食卓に上がるものはこうして手間をかけてできているんだということが伝わるのはとてもいいなと思いました。」「もち米から色々な行程を経て、お餅になることを話だけでなく目で見ることができるのがいいなと思いました。」という記述があった。これらのアンケートから昔からあるお餅つきという日本文化を、子どもたちが実際に見て感じる大切さが保護者に伝わったことがわかる。今後も、衛生面に細心の注意を払い、子どもたちに日本文化を伝えていくように努める。

## (10) 年少組2月クラス懇談会

### ア ひな祭りについて

#### 【現状の説明】

ひな祭りでは、日本の伝統行事の一つとして由来や雛人形を飾る風習があることを伝え、子どもたちが興味や関心を持てるようにしている。世間一般にひな祭り（3月3日）は女の子の節句の日となっているが、本園では女の子だけのお祭りとしてではなく、子どもの健やかな成長を願う行事として行っている。

ホールに飾られた雛人形をクラスごとに見に行き、昔の人の生活を想像できるように働きかけ、その後各学年で子どもの成長に見合ったお雛様を制作し、桃の花と一緒に保育室に飾っている。

ひな祭りの集会では、3月3日は“桃の節句”と呼ばれ、草木や紙で作った人形（ひとがた）を海や川に流して自分の厄災を移す「流し雛」が時代とともに変化し、雛人形に変わっていった由来をわかりやすく伝えている。全園児がホールに集まり歌を歌ったり、コーラス部の保護者の歌を聞いたり、人形劇部の保護者の劇を見て楽しみ、集会後には年長児が作ったクッキーをいただいている。



### 【点検・評価と今後の取組】

保護者アンケート調査によると『ひなまつり』を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。」という設問に対し「理解できた」との回答が 98.3%であった。また、『ひなまつり』の話を読み、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。」との設問に対し、「男兄弟でお雛様を見る機会がないのでありがたい。」「女の子だけの節句だと思っていたが、子どもの成長を願う日だと聞き温かく感じた。」「家庭では伝えられない由来が聞けて良かった。」という記述があった。これらのアンケートから、保護者の理解が深まったことがわかった。今後は家庭でも、子どもの健やかな成長を願う行事として意識してもらえるように保護者に働きかけていく。

### (11) 年中組 3月クラス懇談会

#### 【現状の説明】

本園では、小鳥・かも・うさぎ等の小動物の世話を年長児がグループ（5～6名）で順番に行っている。当番活動を通して小動物に触れあい、親しみを持つことで言葉を話さない小動物への扱いや命の大切さを感じることをねらいとしている。当番は台所に餌を取りに行き、保育室でかもの餌になるキャベツを子ども用の包丁で細かく切る経験をしている。かもの口の大きさを考えてキャベツを小さく切ることや、キャベツを持つ手は指を丸くして指を切らないように気をつけることも身につけさせていく。子どもたちが用意した餌は教員がかも小屋に入って与え、餌を食べる様子を子どもたちは外で見るようにしている。うさぎ小屋には子どもたちも長靴に履き替えて入り、餌をあげている。一年を通して責任を持って世話をすることで、カメは冬には冬ごもりをするため餌を食べなくなり、暖かくなったら目を覚まして動き出すことを知り、季節の変化に気づくことができる。また、うさぎや小鳥は大きな声を出すと怖がって逃げってしまうことを知り、うさぎ小屋には静かに入ることが意識できるようになる。当番活動の後、その日の出来事を当番の子どもからクラス全体に報告する場を持つようにしている。卒園が近づく2月には年長児から年中児へ引き継ぎを行っている。

クラス懇談会では、年長児が取り組んでいる当番活動の内容を具体的に伝え、年中児が2月末に年長児から当番を引き継ぎ、年長児から直接話を聞き教えてもらったことや、年長児になって当番を楽しみにしている様子を伝える予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、クラス懇談会を中止とした。

#### 【点検・評価と今後の取組】

上述のとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、クラス懇談会での保護者へのアンケート調査は実施することができなかった。来年度、年長組に進級し、取り組む子どもの様子を交え、当番活動については保護者に伝えることとする。

## (12) 施設・設備

### 【現状の説明】

園舎については、園児の安全を第一に考え、問題があれば即座に対応し修理改善を行い、安全整備に努めている。

固定遊具については、毎年春に業者による安全点検を実施しているが、常時全教員が安全確認の意識を持ち行動している。各学期始めに全教員で園内を巡回し、園児に危険な場所がないか様々な角度から点検をしている。

保育室内の環境については、園児が心地よく安心して過ごし、楽しく遊びを展開できるように年度初めに各保育室を園長と教員で点検している。育てた花や園児が見つけた落ち葉や木の実を飾るために「季節のテーブル」を設け、棚の上や靴箱の上にも常に花を飾り、季節を感じられるようにしている。

自然環境については、恵まれた環境を積極的に保育に取り入れ、園内散歩の折には咲いている花や実のなる樹木の変化等に子どもが目を向け季節を感じられるように働きかけている。

2017年度には「おはなしの部屋」と用務員室にエアコンを設置した。2018年度にはタイル張りだったプールを全面張り替えた。また、不審者対策として、ホールの入り口の鍵を中からも掛けられるようにした。

2018年に大阪府北部で地震が発生し、地震後に全教員で園内全ての点検を行った。一番心配されたのは絵本の部屋であった。2015年に棚の配置換え及び固定を行っていたため、棚が倒れることも、一冊の絵本も飛び出すこともなかった。同じく各保育室内においても棚が倒れる等の被害は全くなかった。外部においては、のぞみの部屋横の石垣に亀裂が見られたため、その通路は通行禁止にし修復を行った。また、2018年には大雨や大きな台風があり、園内にある樹木の枝が非常に沢山折れた。これを機に、園内にある樹木と、裏山の階段や柵の整備を行った。

### 【点検・評価と今後の取組】

恵まれた自然環境を生かすために、全教員が環境整備について高い意識を持ち続け、園内の草花や樹木への知識をより深め、園児に四季の移り変わりを伝えられるように努めている。

2018年に起きた自然災害を受け、日頃から危機意識を持って施設・設備を点検することを怠らないようにする。雨が降り続いた後など悪天候が続いた時には、裏山や園庭、砂場や屋外の遊具の安全点検は、使用予定のクラス担任等複数の目で行うことを徹底していく。更に危険箇所を見つけた場合には、速やかに園長に報告し早急に修復出来るように手配すると共に、全教員が情報を共有する。

### (13) 保護者への働きかけ

#### ア 直接的な働きかけについて

##### 【現状の説明】

本園の教育方針や教員の考えを、保護者と直接顔を合わせて伝えることができる機会を設け、保護者と共に子どもの現在を知り成長を考えていく場としている。また、連絡帳においては紙面を通して、保護者と子どもの成長を考え、解決へと導く機会としている。

##### (ア) おはなしの会

園長が在園児の保護者を対象に、毎回テーマを決めて教育内容や子育てについて話す場である。保護者が子供の姿を具体的にイメージしてもらえよう、学年ごとに集うようにしている。

##### (イ) 園長懇談

一年を通して保護者からの要望に応じて園での相談、あるいは電話相談を行っている。子どものこと、育児のこと、また保護者自身の悩み等を聞き、少しでも保護者の気持ちを軽くし、子育てを楽しめるよう働きかけている。

##### (ウ) 太陽と大地の会

保護者からの要望で昨年を引き続き、前園長と保護者が子どもの成長や子育て観等を話し合う場を設け、参加者が自分自身と子育てを振り返り自分と向き合う場となっている。参加される保護者になるべく自然体で話ができるよう、月2回（3月、4月は除く）設定し少人数での会にしている。在園児の保護者だけでなく、卒園児の保護者や父親の参加も可能である。

##### (エ) クラス懇談会

月1回（8月、12月、1月は除く）クラスごとに行い、ほぼ全員の保護者が参加している。教員は保護者に本園の教育方針や教育内容がより伝わるように、クラスの様子、保育のねらいや取組・意図について具体的な子どもの姿を交えて話している。また、保育中に行っているぬらし絵や蜜蝋粘土、しぼり染め等を保護者に体験してもらおう機会も設けている。

##### (オ) 個人懇談

保護者から家庭での子どもの様子や子育ての悩みを聞き、教員は園での子どもの様子を十分に捉え個人に合った具体的なアドバイスをするように努めている。入園、進級に伴う保護者の不安を少しでも和らげるため、園での姿を交えてより具体的に話ができるように、個人懇談の開始を年中・年長組は4月末、年少組は5月に行っている。年少・年中組は、11月から自由遊びを参観した後に2度目の個人懇談を行い、参観時の子どもの様子も踏まえて具体的な話をしている。年長組は、11月半ばから2度目の個人懇談を行い、小学校入学に向けた話をしている。また、個人懇談の期間ではなくとも保護者からの要望がある時には時間を設け、懇談を行っている。

#### (カ) 連絡帳

連絡事項だけでなく、家庭での子どもの様子や子育てに関する悩み、子どもを通して感じた園生活のこと等、保護者の思いや考えを教員に伝えるノートであり、保護者との信頼関係を築いていくもののひとつである。連絡帳でのやり取りを通して教員と保護者が互いの思いや考えを知り、子どもへの理解を深め、子ども観をより近いもの出来るよう努めている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

本園で行っている保護者への様々な働きかけの中で、個人懇談やクラス懇談会は保護者と直接顔を合わせて話をするため、子どもに対する相互理解を深める大切な機会であると捉えている。今後も保護者への必要な働きかけができるよう、教員は学年会議等を通して子どもの見方、捉え方を確かめ合い、保護者との時間がより有意義なものになるように努める。

#### イ 間接的な働きかけについて

##### 【現状の説明】

本園の教育方針や教育内容が下記の発信物により伝わり、また保護者の子育てに役立ち、発行を楽しみにしてもらえるものになるよう努めている。

##### (ア) 園だより

園長が年間約 30 号発行して、園の教育方針や活動内容を伝えている。園の行事に対する考えや取り組み方、各学年の発達の違い等、幼児期の子どもの育ちが大切であることを伝えている。

##### (イ) 学年だより

各学年の担任が、年少だより年間約 17 号、年中だより年間約 20 号、年長だより約 25 号を発行している。連絡事項だけではなく、各学年の活動における取組やねらい、子どもの園生活の様子や子どもが経験した姿から担任が感じたこと、大切に思うこと等を伝えている。また、保護者が子育てにおいて、具体的な子どもへの関わり方の手助けとなるように発行している。

##### (ウ) 通園だより

年間 5～6 号発行している。集団通園における教育的意義や通園時において指導している交通ルールや公共マナーを伝え、家庭でも交通ルールや公共マナーを意識してもらえるように働きかけている。

##### (エ) 食育だより

年間 4～5 号発行している。食に関する園での取組や旬の食べ物、おやつに関すること、日本の食文化（お月見、冬至、正月）に関すること等を伝え、子どもの食生活の理解を深められるように働きかけている。

(オ) 機関紙 (はぐくみ)

はぐくみの会 (保護者会) と園の協賛で年4回 (4月、7月、12月、3月) 発行している。園からは、教育方針や教育内容、園長と各学年の担任の思いや考えを掲載している。はぐくみの会からは役員会、クラブ活動の報告、保護者から寄せられた原稿を掲載している。

#### 【点検・評価と今後の取組】

発信物を通して本園の教育方針や活動をわかりやすく伝え、保護者への理解を深められるようにしてきた。今後も様々なお便りを通して、保護者が子育てを考える手助けとなり、糧となるようわかりやすく工夫することに努める。

### ウ 講演会、講習会について

#### 【現状の説明】

講演会は園が主催しており、保護者が自分自身を見つめ直すきっかけとなったり、子育てのヒントを得て悩みや心配事が解消することを願って企画している。講演内容については、今の保護者や子どもたちにとって大切なことや伝えたいこと、また社会情勢も視点に入れて職員会議で話し合い決定している。

講習会ははぐくみの会が主催しており、保護者が興味を持ち保護者同士が共に楽しく学べる機会となっている。

#### <講演会>

- ・ 6月17日 (月) 10:00~11:30  
テーマ:「英米絵本の旅をがいっしょに」  
会 場: 幼稚園ホール  
講 師: 石原 敏子氏 (関西大学名誉教授)

#### <講習会>

- ・ 11月8日 (金) 10:00~11:30  
テーマ:「リンパマッサージ」  
会 場: 幼稚園ホール  
講 師: 照本 なずな氏
- ・ 2月12日 (水) 10:00~11:30  
テーマ: スクラップブック作り  
会 場: 幼稚園ホール  
講 師: 表 まゆき氏

#### 【点検・評価と今後の取組】

講演会に関しては、保護者からの要望もあり、昨年に引き続き石原先生に依頼をした。実際に海外の絵本を見ながら有意義な時間を過ごすことができた。

講習会に関しては、はぐくみの会が講習会後にアンケートを実施している。リンパ

マッサージに参加された方からは、「リンパマッサージを受けてリラックスできすっきりできました。」「とても気持ちよかったです。普段の生活に取り入れたいです。」等の感想があり、スクラップブックに参加された方からは、「時間を忘れて制作に取り組みました。楽しかったです。」「久しぶりに自分だけの楽しい時間が流れました。」等の感想があり、充実した時間を過ごす機会となったことがわかる。  
今後も、保護者のためになる講演会、講習会を実施できるよう内容を検討する。

## エ 保育参観について

### 【現状の説明】

参観は子どもたちが普段通り過ごせるように、参観者の人数や時期を考え設けている。保護者には参観前にクラス懇談会や学年だよりを通して、参観で見てもらいたいところや、子どもたちがいつも通り過ごせるように協力してもらいたいことを伝えている。また、気になることや心配なことがあれば参観後に申し出てもらい、連絡帳や個人懇談を通して一緒に考えている。

#### (ア) 自由遊びを参観（年少・年中組）

年少組では、園生活に十分慣れて安心して過ごせるようになる11月から翌年1月に、2名ずつ自由遊びの参観を設けている。年中組は、友だちとの関わりが深まり一緒に工夫して遊びを展開していくようになる11月から翌年1月に、3、4名ずつ自由遊びの参観を設けている。

#### (イ) リズム参観

リズム運動の参観は、年中組と年長組で設けている。年中組保護者には6月に、リズム運動がどのようなものかを参観を通して知ってもらうため参観を設けている。年長組保護者には、個々の身体の動きや友だちと気持ちを合わせて取り組む動き、友だちを応援する姿等、年中時の参観から子どもの成長や変化を感じてもらえるように、卒園前の3月に設けている。

#### (ウ) 誕生日のお祝いと参観

一人ひとりの生まれた日を大切に考え、誕生日（休園の場合はできる限り近い日）にお祝いしている。保護者1名に来園していただき、朝の集まりからお祝いの後の自由遊びまでの参観を設けている。お祝いの席では我が子の横に座ってもらい、一つ大きくなった子どもの成長を喜び、クラスみんなでお祝いする気持ちを感じてもらえる機会としている。

#### (エ) 運動会参観

運動会は練習を重ねた発表会としてとらえるのではなく、戸外遊びに適した10月を運動月間とし、子どもたちは普段の遊びの延長としてほぼ毎日「運動会ごっこ」を楽しんでいる。10月の運動月間中、年少・年中児の保護者には1日、年長児の保護者には2日、参観日として参加してもらっている。



#### (オ) 休日参観

平日の登園日に来園できない保護者のために休日参観日を設けている。年中・年長児は朝の集まりから降園までの時間を親子で一緒に過ごしてもらい、生活面や友だちとの関わりを通して子どもの成長を感じてもらおう機会としている。年少児にとっては長時間多くの大人がいる中で過ごすことが精神的に負担になると考え、保護者には登園後ホールでスライドを見ながら園生活について園長の話聞いてもらい、その後保育室に入り親子で一緒に過ごす時間を設けている。

#### (カ) クラス全員で取り組むごっこ遊びの参観（年長組）

年長児がクラス全員で取り組むものとして「おみせやさんごっこ」を行っている。年長児は年少・年中児の時に招待された経験を活かし、クラスで意見を出し合い様々なお店（たこ焼き屋、アクセサリー屋、レストラン、魚釣り、綿菓子屋、美容院、お化け屋敷等）を作り、店主として年少・年中児を招待し一緒にごっこ遊びを楽しむ。年長児の保護者はお客として招待され、子どもとのやり取りを通してごっこ遊びの世界を感じてもらおうと共に、子どもの成長を感じる機会となっている。

#### 【点検・評価と今後の取組】

誕生日のお祝いの参観後に保護者から、「子どもが生まれた時のことを思い出して胸が熱くなりました。」「クラスの友だちに祝ってもらい、はにかみながらも嬉しそうな子どもの姿を見ることが出来ました。」等の感想をいただくことが多い。今後も保護者には、一人ひとりの生まれた日を大切にしていることを伝え、共に子どもの成長を喜べるひと時にしたい。

年少・年中組は、自由遊びの参観後に個人懇談日を設けている。保護者が実際の子どもの姿を見て、不安に思うことや気になることを教員に話すことで安心できるようにし、子どものことを共に考える時間となっている。

休日参観では、普段幼稚園に来られない保護者に普段の子どもの姿を見ていただく機会であることを含め、親子で楽しめる内容を今後も検討していきたい。

### (14) 小学校（初等部）との関連

#### 【現状の説明】

本園では、基本的な生活習慣の確立はもとより、園生活を通して非認知能力といわれる力（意欲や集中力、自制心や忍耐力、他者と関わる力、協働性、思いやり、自尊心、自信、想像力や創造力）を幼児期に育てることが重要であると考えている。毎日の保育を積み重ね、これらの力を幼児期にしっかり育てることが、学習に取り組む力の基礎となると考え、小学校教育の先取りはしていない。

2018年に幼稚園教育要領が改訂され「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明確化された。教員はそれを踏まえ、子どもが心身共にバランスよく育っているか、多面的、総合的に見ることに努めている。また、年長組では小学校の学習へのつながり

を意識し、クラス全体で取り組む経験やグループでの活動、みんなの前で発表する経験やクラスで伝え合う時間等を取り入れ、やり遂げる経験を子どもの自信につなげたいと考えている。

卒園生のほとんどの子どもが吹田市内の公立小学校へ進学し、数名の子どもが関西大学初等部を含めた私立小学校へ進学している状況である。関西大学初等部には、内部選考を経て最大6名が進学できる。2010年の開校以来5月中旬に、在園児の保護者を対象に入学説明会を行っており、初等部に興味関心を持つ年少・年中児の保護者も参加している。

#### 【点検・評価と今後の取組】

初等部の教員と毎年懇談する機会を持ち、園から初等部へ進学した子どもの様子を聞くと共に、小学校生活の現状を知り、子どもの育ちの課題や目指す子ども像が同じであることを確認している。また、近隣小学校の教員から聞く卒園生の様子も踏まえて、しっかりと小学校生活への見通しを持った日々の保育の実践に努め、幼児期に必要な力を育成できるよう教員間で確認し合うことにする。

## 5 学校関係者評価委員会からの評価結果

〈自己点検・評価の適切性〉

関西大学幼稚園では、2009年度から2017年度まで自己点検・評価の内容を3分類し、3年で一巡する形で評価を行い、いずれの内容においても回を追うごとに高い評価を得てきた。どの内容も幼稚園教育を行う上で重要なことであり、教員は園児の教育に何が大切であるかを常に考え実践してきた。しかし、幼稚園教育が子どものすこやかな成長を保障するには、教員の努力だけでなく、園の教育に対する保護者の理解と協力が不可欠である。そこで、2018年度からはクラス懇談会に焦点を絞って、教育内容の意図するところを保護者が理解し、それが子育てに役立っているかを2年かけて点検・評価することにした。本年度はその2年目である。人が物事を理解する方法はいろいろ考えられるが、本園では教育内容を具体的に伝えることに加えて、保護者自身が経験するという方法を取り入れた。

本年度においては、子どものすこやかな成長を保障するために、保護者が本園の教育について理解を深め、園が保護者の保育ニーズを理解するという双方向の理解を進めるうえで適切に自己点検・評価が行われている。

〈重点的な取組の適切性〉

本年度の自己点検・評価は、「教育内容」、「施設・設備」、「保護者への働きかけ」、「小学校（初等部）との連携」であった。「教育内容」については、教員・保護者ともにアンケートを実施し、それ以外の項目については、教員のみアンケートを実施している。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の年中組クラス懇談会が中止され、

保護者にアンケートが実施できなかった。そこで、本委員会では、教員と保護者ともにアンケート結果が得られた「教育内容」を中心に検討したところ、重点的な取組が適切に行われていた。

まず、「教育内容」では、年少組での9月、11月、2月のクラス懇談会、年中組での6月、9月、11月のクラス懇談会、年長組での6月、9月、11月のクラス懇談会における、以下のような教育内容について自己点検・評価が行われた。すなわち、「絵本・絵本の貸し出し」、「園外保育」、「誕生日のお祝い」、「プール遊び」、「通園」、「親子遠足」、「安全教育（防災・防犯訓練）」、「集団遊び」、「戸外での自由遊び」、「体育的な遊び」、「散歩」、「冬のつどい」、「チューリップの球根植え」、「お餅つき」、「ひなまつり」を対象としている。保護者が幼稚園の教育内容を知識として理解するのみならず、幼い時、幼稚園で自ら経験した教育内容を生き生きと経験すること、すなわち、園児と同じ教育内容を実感を伴って体験することで理解するという経験はなかなかできないことである。保護者の体験を通じて園の教育への理解を図るという本園の方法は有用であり、非常に興味深いものである。保護者自身が同じ体験をすることで、子どもがその時どのように感じ、何を見てどのように学んでいるかがよくわかり、その遊びの持つ意味や子どもに与える影響を理解することができるであろう。保護者も子どもも同じ目線で、一つのことに気持ちを向けていくことで、親子の共感性を培うことができるのである。この共感性は人と一緒に学んだり、遊んだり、考えたりする上でとても重要な資質となる。

文部科学省は平成29年3月の幼稚園教育要領の改訂に向けて、「忍耐力や自己統制力、自尊心といった社会情動的スキルやいわゆる非認知能力を幼児期に身につけることが、大人になってからの生活に大きな差を生じさせる」という研究成果や調査結果があり、幼児教育での重要性への認識が高まっている」との見解を示しているが、子どもが生きていく上で大切な資質が遊びを通して育まれるのである。そのきっかけやヒントを提供する上でも、本園の取組は非常に的を射ている。

「施設・設備」については、教職員は園舎、遊具、保育室を点検し、必要であればすぐに修理し、子どもがいつも安心して生活できるよう配慮している。

「保護者への働きかけ」においては、直接的な働きかけと間接的な働きかけに分けて分析している。直接的な働きかけでは6種類の取組をしているが、中でも個人懇談やクラス懇談会が教職員と保護者の子どもに対する相互理解を深める大切な機会ととらえ、工夫がなされている。また、園日より等5種類の間接的な働きかけによって、子育てに役立つような情報が発信されている。

「小学校（初等部）との関連」では、初等部の教員と懇談する機会を持ち、小学校生活の現状を知り、子どもの育ちの課題や目指す子ども像が同じであることを確認している。また、幼稚園での教育はそれだけで完結するものではないため、初等部へ進学した子どもや近隣の小学校に入学した子どもたちの様子を聞いて、小学校での生活につながる保育実践に努めている。しかし、それは小学校教育の先取りをするということではな

い。教育は発達指数や知能指数のように数値化されるものばかりを目指しているのではない。知りたい、わかりたいという気持ちや好奇心が、学びたい、学ぼうという意志や意欲を生み、それが自発的な学びにつながるのである。本園では知識のみならず、学びのもとにある子どもたち一人一人の非認知能力を育み、伸ばしていくことに主眼を置いて教育を行っている。それは短期間に目に見えて変化するものではないが、卒園後の学校教育において形を成していく学ぶ力へとつながっていくと考えられる。

#### 〈自己点検の結果を踏まえた改善方策の適切性〉

本園では、先述のように従来の自己点検・評価をさらに発展させる形で、2018年度に続けて、教育内容の意図するところを保護者が理解し、それが子育てに役立っているかを点検・評価した。

アンケート調査では、その理解度について項目ごとに96%~100%という高い評価を得ており、保護者は非常によく教育内容を理解していることが明らかになった。教員はその結果に甘んじることなく、さらに保護者の理解を深めるために何をすればよいかを検討しており、自己点検の結果を踏まえた改善方策は適切に行われている。

保護者が教育内容をよりの確に理解することは、子どもたちが園での出来事を話した時に、保護者も追体験し、ともにその遊びを楽しむことになるであろう。一方、子どもは保護者が自身の話に耳を傾けてくれることで、園での出来事を再び体験し、その楽しさや嬉しさは倍加し、次の遊びや行動にもっと進んでいきたくなるであろう。もし悲しくつらい出来事であったとしても、その気持ちを受け止めてくれる保護者がいることで、それらの経験を乗り越えていくことになると思われる。また、保護者が教育内容をよく理解していれば、子どもの話の中で、十分に説明できていないところを補うなど、より楽しい遊びにするための方法を親子で考えることもできるであろう。

子どもの成長は保護者にとって非常に喜ばしいことであるが、それが形になって現れるには時間がかかる。成長の早い子どももいれば時間のかかる子もいる。目に見える形を追求するのであれば、一律に同じような成長が望まれるかもしれない。しかし、本園が目指しているのはすぐに現れる教育の成果ではなく、少しずつではあっても着実に力を伸ばし、花開していく子どもの資質を、保護者が焦ることなく見守っていくことのできる教育である。これこそが本園の教育の神髄である。

【学校関係者評価委員会委員名簿】

氏名	所属及び役職
北村由美	関西大学大学院 心理学研究科 教授 ※評価結果取りまとめ執筆者
中西美紀	関西大学幼稚園 はぐくみの会 会長
味園貴子	関西大学幼稚園 卒園生保護者
和田千里	関西大学幼稚園 卒園生保護者
中村友香	関西大学幼稚園 園長

6 「学校評価（自己点検・評価）報告書」に対する園長の意見書

関西大学幼稚園  
園長 中村 友香

本園の学校評価（自己点検・評価）は、「関西大学幼稚園教育課程」におけるすべての教育内容やその意図が保護者に十分伝わっているか、子育てに役立つものになっているかを各学年のクラス懇談会を通して、2年かけて点検・評価している。クラス懇談会は教員が保護者に直接教育内容を具体的に伝えることのできる、大事な機会である。幼児教育は何より家庭との連携が大切であり、保護者への働きかけを点検・評価することで、生涯における学習の基礎を作る幼児教育の重要性をどう伝えていくべきかを知ることができると考えている。

世の中、価値観が多様化しているように、保護者も様々な子育て観を持っており、今の保護者の気持ちを理解した上で、よりわかりやすく伝える方法を模索する必要がある。また、保護者は子どもの姿から自分の子育てを評価されるとの印象を持っているようで、自分の子育てを評価されていると感じ、子育ての悩みを抱えていても相談できていないように感じる。そこで、今年度もアンケートに、「今子育てで悩んでいること、困っていること」を記載できるようにした。年少組ははじめての園生活で悩みを記載している保護者が多かったが、年長組になると「悩みはありません。」や「安心しています。」という記載が多かった。学期が終わるにつれ、どの学年も悩みが少なくなっている現状から、担任との関係ができ、担任に相談し悩みが解決できていることが大きいと推察する。

昨年度から、クラス懇談会において教育内容の一部を保護者自身が体験するという取り組みを行っている。それにより、教育の意図や重要性がより伝わり、保護者の理解を深めるものになっている。それと共に、子どもと同じように体験することで、子どもの気持ちを想像したアンケートの記述が多いことから、子どもの具体的な姿を伝えるだけより、保護者が体験することでイメージが持て、子どもの気持ちを想像することができたと考える。その時の子どもの気持ちを想像し、感じることで子どもを知ることができ、それがこれからの保護者の子育ての一助になると思っている。クラス懇談会後のアンケートには毎回丁

寧に記述いただき、保護者の協力を感謝している。

この学校評価を本園の教育の向上に生かしていきたいと思う所存である。

## 7 アンケート結果

2019年度学校評価についてのアンケート項目一覧・実施対象者別アンケート結果比較一覧表（関西大学幼稚園）

2019年度 関西大学幼稚園 教員対象 学校評価に関するアンケート（用紙）

2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象 学校評価に関するアンケート（用紙）

以 上



2019年度学校評価についてのアンケート項目一覧・実施対象者別アンケート結果比較一覧表(関西大学幼稚園)

保護者アンケート	A	B	C	D	無記入	教員用アンケート	A	B	C	D	無記入
「絵本・絵本の貸し出し」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	「絵本の読み聞かせ」では、子どもの想像力を育めるように取り組みましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「園外保育」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	「園外保育」では季節を感じ、自然を身近に感じられるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「誕生日のお祝い」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「誕生日のお祝い」では、一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることが感じられるように意識して取り組んできましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「プール遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	プール遊びでは、水に親しみ、楽しめるように子どもの発達段階に合わせた指導をしましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「通園」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.8%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%	「通園」では、子どもに交通ルールや公共のマナーについて指導していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「親子遠足」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	98.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	「年少園外保育」では、親子で季節を感じ、楽しめる取り組みができましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「安全教育（防災・防犯訓練）」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	98.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「安全教育（防犯・防災）」では、子どもが防災、防犯の避難訓練のことを理解し、指示に従って行動できるように指導していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「集団遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	96.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「集団遊び」では、社会性や協調性、仲間意識が育つように指導していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「戸外での自由遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「戸外での自由遊び」では、子どもが遊びたい遊びを見つけ自主的に行動し、友だちとの関わりをもてるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「体育的な遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	98.1%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	「体育的な遊び」では、子どもが体を動かす楽しさや心地よさを味わい、意欲的に取り組めるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「散策」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「散策」では、四季折々の草花や実のなる木の変化を子どもが感じられるように働きかけていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「冬のつどい」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「冬のつどい」では、冬至に向けて昔からの先人の知恵を伝え、太陽への感謝の気持ちや寒さを体感できるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「チューリップの球根植え」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「チューリップの球根植え」では、自分の手で球根を植えることで、生長過程に興味や関心を持てるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「お餅つき」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	「お餅つき」では、昔ながらの風習を知り、お餅ができる過程に興味や関心をもてるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「ひなまつり」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	98.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	「ひなまつり」では、由来や昔から伝わる風習に関心を持てるように働きかけましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「小鳥かもうさぎ当番」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。	-	-	-	-	-	「小鳥・かも・うさぎ当番」では、子どもが小動物を身近に感じられるように働きかけていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						<初等部についておたずねします。>					
						①高槻ミュージックキャンパスにある関西大学初等部と連携を深めるにあたり、授業内容や実情の把握に努めていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						②在園児保護者対象の入学説明会の時期は適切であると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

保護者アンケート	A	B	C	D	無記入	教員用アンケート	A	B	C	D	無記入
						<保護者への働きかけについておたずねします。>					
						①「園だより」では教育方針や保育観、園全体の取り組みが伝わるように努めていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						②「学年だより」では学年の取り組みや子どもの様子が伝わるよう努めていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						③「食育だより」では季節や行事の食に関する事柄や取り組みが伝わるよう努めていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						④「通園だより」では普段から交通ルールを守り、公共のマナーに目を向けることが子どもの社会性を促すものと考え発行しています。園の考えが伝わるよう努めていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						⑤クラス懇談会において、園生活や教育内容を通して、本園の教育方針を理解してもらえるよう保護者へ話をすることができましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						⑥個人懇談会では、子どものことを保護者と一緒に考える時間を持ってましたか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						<施設、設備についておたずねします。>					
						①子どもたちが安全に過ごせるように環境整備に努めていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						②季節の花々や樹木など、子どもたちが四季を感じられる環境を整えるように努めていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						③保育室は子どもたちが生活しやすい環境を整えるよう努めていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
						④園地・園舎の施設を管理し、遊具・用具などの整備を計画的に行い、複数の目で定期的に安全点検を行っていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

2019年度 関西大学幼稚園 教員対象 学校評価に関するアンケート

アンケートにご協力をお願いします。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 「絵本の読み聞かせ」では、子どもの想像力を育めるように取り組みましたか。

- A 取り組んだ
- B まあまあ取り組んだ
- C あまり取り組んでいない
- D 取り組まなかった

B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。

( )

2. 「園外保育」では季節を感じ、自然を身近に感じられるように働きかけましたか。

- A 働きかけた
- B まあまあ働きかけた
- C あまり働きかけていない
- D 働きかけなかった

B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。

( )

3. 「誕生日のお祝い」では、一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることが感じられるように意識して取り組んできましたか。

- A 取り組んだ
- B まあまあ取り組んだ
- C あまり取り組んでいない
- D 取り組まなかった

B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。

( )

4. プール遊びでは、水に親しみ、楽しめるように子どもの発達段階に合わせた指導をしましたか。

- A 指導した
- B まあまあ指導した
- C あまり指導していない
- D 指導しなかった

B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。

( )

5. 「通園」では、子どもに交通ルールや公共のマナーについて指導していますか。

- A 指導している
- B まあまあ指導している
- C あまり指導していない
- D 指導していない

B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。

( )

6. 「年少園外保育」では、親子で季節を感じ、楽しめる取り組みができましたか。  
A できた  
B まあまあできた  
C あまりできなかった  
D できなかった  
B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。  
( )
7. 「安全教育 (防犯・防災)」では、子どもが防災、防犯の避難訓練のことを理解し、指示に従って行動できるように指導していますか。  
A 指導している  
B まあまあ指導している  
C あまり指導していない  
D 指導していない  
B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。  
( )
8. 「集団遊び」では、社会性や協調性、仲間意識が育つように指導していますか。  
A 指導している  
B まあまあ指導している  
C あまり指導していない  
D 指導していない  
B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。  
( )
9. 「戸外での自由遊び」では、子どもが遊びたい遊びを見つけ自主的に行動し、友だちとの関わりをもてるように働きかけましたか。  
A 働きかけた  
B まあまあ働きかけた  
C あまり働きかけていない  
D 働きかけなかった  
B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。  
( )
10. 「体育的な遊び」では、子どもが体を動かす楽しさや心地よさを味わい、意欲的に取り組めるように働きかけましたか。  
A 働きかけた  
B まあまあ働きかけた  
C あまり働きかけていない  
D 働きかけなかった  
B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。  
( )

11. 「散策」では、四季折々の草花や実のなる木の変化を子どもが感じられるように働きかけていますか。  
A 働きかけている  
B まあまあ働きかけている  
C あまり働きかけていない  
D 働きかけていない  
B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。  
( )
12. 「冬のつどい」では、冬至に向けて昔からの先人の知恵を伝え、太陽への感謝の気持ちや寒さを体感できるように働きかけましたか。  
A 働きかけている  
B まあまあ働きかけている  
C あまり働きかけていない  
D 働きかけていない  
B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。  
( )
13. 「チューリップの球根植え」では、自分の手で球根を植えることで、生長過程に興味や関心を持てるように働きかけましたか。  
A 働きかけている  
B まあまあ働きかけている  
C あまり働きかけていない  
D 働きかけていない  
B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。  
( )
14. 「お餅つき」では、昔ながらの風習を知り、お餅ができる過程に興味や関心がもてるように働きかけましたか。  
A 働きかけた  
B やや働きかけた  
C あまり働きかけなかった  
D 働きかけなかった  
B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。  
( )
15. 「ひなまつり」では、由来や昔から伝わる風習に関心が持てるように働きかけましたか。  
A 働きかけた  
B やや働きかけた  
C あまり働きかけなかった  
D 働きかけなかった  
B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。  
( )

16. 「小鳥・かも・うさぎ当番」では、子どもが小動物を身近に感じられるように働きかけていますか。

- A 働きかけている
  - B まあまあ働きかけている
  - C あまり働きかけていない
  - D 働きかけていない
- B、C、Dと答えた方はその理由を書いてください。

( )

<初等部についておたずねします。>

① 高槻ミュージックキャンパスにある関西大学初等部と連携を深めるにあたり、授業内容や実情の把握に努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

② 在園児保護者対象の入学説明会の時期は適切であると思いますか。

- A そう思う
- B ややそう思う
- C あまりそう思わない
- D そう思わない

B、C、Dと答えた方はいつ頃が良いと思いますか。

( )

<保護者への働きかけについておたずねします。>

① 「園だより」では教育方針や保育観、園全体の取り組みが伝わるように努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

② 「学年だより」では学年の取り組みや子どもの様子が伝わるよう努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )



③ 「食育だより」では季節や行事の食に関する事柄や取り組みが伝わるよう努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

④ 「通園だより」では普段から交通ルールを守り、公共のマナーに目を向けることが子どもの社会性を促すものと考え発行しています。園の考えが伝わるよう努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

⑤ クラス懇談会において、園生活や教育内容を通して、本園の教育方針を理解してもらえるよう保護者へ話をすることができましたか。

- A できた
- B まあまあできた
- C あまりできなかった
- D できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

⑥ 個人懇談会では、子どものことを保護者と一緒に考える時間を持てましたか。

- A 持てた
- B やや持てた
- C あまり持てなかった
- D 持てなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

<施設、設備についておたずねします。>

① 子どもたちが安全に過ごせるように環境整備に努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

② 季節の花々や樹木など、子どもたちが四季を感じられる環境を整えるように努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

③ 保育室は子どもたちが生活しやすい環境を整えるよう努めていますか。

- A 努めている
- B やや努めている
- C あまり努めていない
- D 努めていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

④ 園地・園舎の施設を管理し、遊具・用具などの整備を計画的に行い、複数の目で定期的に安全点検を行っていますか。

- A 行っている
- B やや行っている
- C あまり行っていない
- D 行っていない

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

よろしければお名前をお書きください。

---

2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート (年中6月)

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「園外保育」「絵本・絵本の貸し出し」についてお伝えしました。

1. 「園外保育」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。(1つ選んでください)
- A 理解できた
  - B まあまあ理解できた
  - C あまり理解できなかった
  - D 理解できなかった

( B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。 )

2. 「園外保育」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. 「絵本・絵本の貸し出し」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。(1つ選んでください)
- A 理解できた
  - B まあまあ理解できた
  - C あまり理解できなかった
  - D 理解できなかった

( B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。 )

4. 「絵本・絵本の貸し出し」の話や絵本の読み聞かせを聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

5. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート (年長6月)

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「誕生日のお祝い」についてお伝えしました。

1. 「誕生日のお祝い」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。(1つ選んでください)
  - A 理解できた
  - B まあまあ理解できた
  - C あまり理解できなかった
  - D 理解できなかった

( B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。 )

2. 「誕生日のお祝い」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート (年長7月)

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「プール遊び」についてお伝えしました。

1. 「プール遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。(1つ選んでください)
  - A 理解できた
  - B まあまあ理解できた
  - C あまり理解できなかった
  - D 理解できなかった

( B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。 )

2. 「プール遊び」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構です。お書きください。
3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート (年少9月)

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「通園」「親子遠足」についてお伝えしました。

1. 「通園」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「通園」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. 「親子遠足」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

4. 「親子遠足」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

5. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---



2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート (年中9月)

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「安全教育 (防災・防犯訓練)」「集団遊び」についてお伝えしました。

1. 「安全教育 (防災・防犯訓練)」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

( B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。 )

2. 「安全教育 (防災・防犯訓練)」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. 「集団遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

( B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。 )

4. 「集団遊び」の話の聞いたり、一緒に行なったことで、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

5. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート (年長9月)

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「戸外での自由遊び」「体育的な遊び」についてお伝えしました。

1. 「戸外での自由遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。  
(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

( B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。 )

2. 「戸外での自由遊び」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. 「体育的な遊び」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

( B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。 )

4. 「体育的な遊び」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

5. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート (年中11月)

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「チューリップの球根植え」についてお伝えしました。

1. 「チューリップの球根植え」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。(1つ選んでください)
  - A 理解できた
  - B まあまあ理解できた
  - C あまり理解できなかった
  - D 理解できなかった

( B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。 )

2. 「チューリップの球根植え」の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート (年少 11月)

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「散策」「冬のつどい」についてお伝えしました。

1. 「散策」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「散策」の話を読み、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構です  
のでお書きください。

3. 「冬のつどい」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

4. 「冬のつどい」の話を読み、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構  
ですのでお書きください。

5. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート (年長11月)

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「お餅つき」についてお伝えしました。

1. 「お餅つき」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。

(1つ選んでください)

- A 理解できた
- B まあまあ理解できた
- C あまり理解できなかった
- D 理解できなかった

B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。

( )

2. 「お餅つき」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---

2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート (年少2月)

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「ひなまつり」についてお伝えしました。

1. 「ひなまつり」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。(1つ選んでください)
  - A 理解できた
  - B まあまあ理解できた
  - C あまり理解できなかった
  - D 理解できなかった

( B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。 )

2. 「ひなまつり」の話聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構です。お書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---



2019年度 関西大学幼稚園 保護者対象  
学校評価に関するアンケート (年中3月)

アンケートにご協力をお願いします。

今回のクラス懇談会では、「小鳥・かも・うさぎ当番」についてお伝えしました。

1. 「小鳥・かも・うさぎ当番」を通して、関大幼稚園が大事にしていることが理解できましたか。(1つ選んでください)
  - A 理解できた
  - B まあまあ理解できた
  - C あまり理解できなかった
  - D 理解できなかった

( B、C、Dと答えた方はその理由をお書きください。 )

2. 「小鳥・かも・うさぎ当番」の話を聞き、思ったことや感じたことがあれば、どんなことでも結構ですのでお書きください。

3. お子さんのことで今、困っていることや悩んでいることがあればお書きください。

よろしければお名前をお書きください。

---